

# ミニごみの区分と出し方



## 取残しが多い物

### ・スプレー缶、カセットボンベ ⇒ 缶の日 スプレー缶専用コンテナ(黄色)

不燃物に混じったスプレー缶が原因で処理施設や収集車で火災や事故が発生したことがあります。分別と穴あけの徹底をお願いします。錆びているものでも必ず穴をあけて出してください。

### ・タイヤチェーン、健康器具、スプリングが入っているベッドやソファなど ⇒ 収集しません

ほうきりサイクルセンターへ直接搬入してください。

### ・自動車部品 ⇒ 収集しません

ヘッドライト、ハンドル、ホイールキャップ、バッテリーなどは専門業者（購入した業者、自動車修理店、資源回収業者など）へ処理を依頼してください。

### ・鏡のついた製品 ⇒ 不燃ごみの日、不燃性粗大ごみの日

姿見や鏡台などが可燃性粗大ごみの日に出されていることがありますが、大きさや材質に応じて不燃ごみ、不燃性粗大ごみの日に出してください。

※鏡（不燃物）を取り除いたものであれば可燃ごみ、可燃性粗大ごみの日に出してください。

### ・机、イス ⇒ 可燃性粗大ごみの日、不燃性粗大ごみの日

木製のは可燃性粗大ごみの日に、金属製のは不燃性粗大ごみの日に出してください。

簡単に分けられる部分は可燃ごみ、不燃ごみに分けて出しましょう。困難な場合はそのまま出しましょう。

## 分別区分を間違えやすい物

### ・使い捨てライター ⇒ 可燃ごみの日

プラスチックなど燃える部分が多いものについては、多少金属がついていても可燃ごみの日に出してください。

○使い捨てライター 可燃ごみ

○金属製ライター 不燃ごみ

○チャッカマンタイプ（着火棒） 分解ができれば金属部分は不燃ごみ その他は可燃ごみ

※分解が困難な場合はそのまま可燃ごみに出してください

### ・ダウン、布団など綿入りのもの ⇒ 可燃ごみの日、可燃性粗大ごみの日

綿などが入っているものは資源にならないので再生資源としては出せません。町のごみの袋に入るものは可燃ごみの日、入らないものは可燃性粗大ごみの日に出してください。

### ・モーターで動く製品 アダプター ⇒ 小型家電の日

乾電池が入っているものは乾電池を取り外して、小型家電として出してください。取り外した乾電池は絶縁して有害ごみとして出してください。充電電池が取り外せない小型家電は、有害ごみの

日に出してください。

## 問い合わせが多い物

### ・蛍光灯 ⇒ 有害ごみの日(令和4年～)

蛍光灯は有害ごみとして扱います。買い替え時の箱などに入れて出してください。

割れたものは新聞紙に包む等して出してください。

大栄庁舎、北条支所でボックス回収も行っていますが、割れた蛍光灯はボックス回収していません。

### ・スプレー缶のキャップやノズル ⇒ 可燃ごみの日

スプレー缶は缶の日に収集しますが、燃える素材でできたキャップやノズルは取り外せるようであれば可燃ごみの日に出してください。

### ・家電4品目 ⇒ 家電小売店に処理を依頼するか指定引取場所に持ち込む

家電4品目（テレビ、エアコン、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）を処分する際には、リサイクル料金や収集運搬料金が必要です。以下のいずれかの方法を選択し、適切に処分してください。

#### 【家電4品目のリサイクル方法】

- ①製品を購入した家電小売店、新しく買い替え予定の家電小売店に引き取りを依頼する
- ②郵便局でリサイクル券を購入し、指定引取場所へ直接持ち込む
- ③郵便局でリサイクル券を購入し、収集運搬を一般廃棄物許可業者に依頼する

## 1人1日当たりごみ排出量500グラム以下を目指して

### ・ごみとして捨てられがちな再生資源

雑がみ（小さな紙ごみ、封筒、お菓子・食品の箱など）

…雑がみ用の紙袋などを準備して、雑がみを資源として出す習慣を身につけましょう。

食品トレイ（発泡スチロール製）

…可燃ごみとして出されやすいです。白色トレイの汚れを落として、再生資源の日に出してください。（汚れの落ちないもの、色付きのトレイは可燃ごみで出してください）

※引き取りを行っているスーパーなどに出すこともできます。

### ・生ごみは水切りを行う

令和4年度の1人1日当たりのごみ排出量は645グラムでした。排出されるごみのほとんどは可燃ごみで、可燃ごみの半分以上が「水分」の重さです。

生ごみは、水切りをして水分を減らすだけで約10%の減量に繋がります。つまり、水切りを行うだけで目標の500グラム以下に簡単に近づけることができます。